

平成 27 年度文部科学省委託事業

「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」

I 「学校評価の充実」

成果報告書

平成 28 年 3 月

学校法人 大和学園

目次

1. 事業概要

1. 1－事業計画の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

1. 2－達成目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

1. 3－実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

1. 4－全体スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

2. 事業活動内容

2. 1－研修モデル策定ワーキンググループの実施・・・・・・・・ P 3

2. 2－専修学校の学校評価における課題抽出の・・・・・・・・ P 5
アンケートの実施

2. 3－専修学校の学校評価の充実に向けた研修会の実施・・ P 7

3. まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10

資料：添付資料①：研修モデル策定ワーキンググループ会議資料、報告書
添付資料②：学校評価に関するアンケート結果報告書、質問表
添付資料③：「専修学校における学校評価の充実」セミナー配布資料

1. 事業概要

1. 1－事業計画の概要

事業テーマ：京都府の専修学校の学校評価の充実を推進する教職員研修モデルの構築と実践

文部科学省より「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進 平成 27 年度『I. 学校評価の充実』」の事業委託を受け、京都府内の職業実践専門課程の認定を受けた、あるいは認定を目指す専修学校の学校評価の充実に向けた研修モデルを企画・立案・実施・検証する。

1. 2－達成目標

- ①京都府の専修学校に対し、学校評価ガイドライン等※に基づく学校評価を推進する。
- ②京都府の専修学校における学校評価の課題を抽出し、課題解決に向けた具体的な研修モデルを実証する。
- ③研修モデルの実証により、京都府の専修学校における学校評価の取り組みを推進し、教育の質を向上させる。

※「専修学校における学校評価ガイドライン」及び「学校評価を活かした専修学校の質保証・向上に向けて～専修学校における学校評価実践の手引き～」を指す。

1. 3－実施体制

学校法人大和学園法人事務局を主管校とし、一般社団法人京都府専修学校各種学校協会、京都 YMCA 国際福祉専門学校、ディースファッション専門学校、京都理容美容専修学校、京都調理師専門学校、キャリエールホテル旅行専門学校の専修学校 8 分野中 4 分野（衛生／商業実務／教育・社会福祉／服飾・家政）の専修学校、専門学校により実施体制を組織した。また、アンケート調査に株式会社東京サーベイ・リサーチに協力いただいた。

2. 事業活動内容

2. 1 研修モデル策定ワーキンググループの実施

(1) 目的：

本事業において実施する研修をより効果的なものとするために、実施時期・コンテンツ・周知方法等のプログラムの詳細を検討し、研修モデル策定ワーキンググループ（※以下、「WG」という）を立ち上げる。WGについては、学校法人大和学園と一般社団法人京都府専修学校各種学校協会が連携し研修の詳細をとりまとめ、各メンバーの英知を結集させ、学校評価に関する教職員研修のモデルを開発・実証する。

また、第1回WG終了後は、京都府下の専修学校に学校評価に関するアンケートを実施し、京都府下の専修学校における学校評価の課題を抽出し、第2回以降のWG、研修会の内容に反映させる。

(2) 体制：

下記のWGメンバーにて、京都府下の専修学校に対する学校評価の課題抽出のアンケート実施および学校充実に向けた研修会の内容について協議し、最終回（第4回目）にて、今後に向けた改善点等について意見交換を行った。

氏名	所属・職名	役割等
田中 幹人	学校法人 大和学園 法人事務局長	主幹
村上 徳光	京都 YMCA 国際福祉専門学校 教務部長	協力
富永 泰彰	ディースファッション専門学校 経営企画部長	協力
佐野 貴代	京都理容美容専修学校 事務局	協力
山内 晴子	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 事務局	協力
作岡 友樹	京都調理師専門学校 教務部長	協力
安原 善則	キャリエールホテル旅行専門学校 教務部長	協力
常田 修一	株式会社東京サーベイ・リサーチ 大阪支社長	調査実施
中西 治代	株式会社東京サーベイ・リサーチ 主任リサーチャー	調査実施

畑中 康寛	学校法人 大和学園 法人事務局 総務・経営情報グループ 部長	事務局
柳瀬 芳雄	学校法人 大和学園 法人事務局 総務・経営情報グループ	事務局

(3) WG開催スケジュールおよび議題

詳細は添付資料①（会議資料、会議報告書）を参照

第1回 2015年10月1日（木）

／場所：キャリアールホテル旅行専門学校 ダイニングルーム

<議題>

報告事項 1. WGメンバーのご紹介

2. これまでの経緯について

審議事項 1. 今後のWG活動スケジュールと業務分担（案）について

2. 京専各会員校へのアンケート実施（案）について

第2回 2015年11月20日（金）

／場所：キャリアールホテル旅行専門学校 ダイニングルーム

<議題>

報告事項 1. アンケート結果について

審議事項 1. 教職員研修の実施（案）について

第3回 2015年12月16日（水）

／キャリアールホテル旅行専門学校 キャリアールスイート

<議題>

審議事項 1. 教職員研修の実施（最終案）について

第4回 2016年2月12日（金）

／キャリアールホテル旅行専門学校 ダイニングルーム

<議題>

審議事項 1. 研修会の成果報告および改善（案）について

2. 文部科学省への報告（案）について

2. 2－専修学校の学校評価における課題抽出のアンケートの実施

研修会の開催にあたり、京都府下の専修学校が抱える学校評価における課題を抽出し、研修内容に反映させるため、第1回WGにて実施時期や設問内容等を協議した。また、客観性を担保するため、Webシステム構築、集計、分析、報告までを第三者（株式会社東京サーベイ・リサーチ）へ依頼した。回答の簡易化および分析の早期化を目的にWebシステムを利用し、より具体的な改善につながるように自由記述の設問を設けた。また、アンケート結果は第2回WGにて報告の上、研修会当日に発表した。

(1) 目的：

専修学校における学校評価ガイドラインに基づく、京都府下の専修学校における学校評価に関する課題を抽出するためのアンケートを実施する。

(2) アンケート概要

設問数	21問
回答形式	選択式と自由記述を併用し、記名で実施
対象	京都府下の専修学校（61校）メールおよび郵送にて案内 回答者は各学校の学校評価等担当者へ依頼
期間	2015年10月19日（月）～11月11日（金）
形式	Webシステムで実施
質問内容	添付資料②参照
活用方法	・第2回WGでの結果報告、事業報告書への記載、研修会での報告⇒京都府下の専修学校における学校評価の取り組みの具体的改善に活用

(3) スケジュール

日程		内容
9月28日	月	
29日	火	
30日	水	
10月1日	木	WGにて協議
2日	金	
3日	土	
4日	日	
5日	月	調査票内容確定
6日	火	回答画面作成開始
7日	水	
8日	木	
9日	金	
10日	土	
11日	日	
12日	月	
13日	火	
14日	水	
15日	木	
16日	金	※文言など微修正
17日	土	
18日	日	
19日	月	↓サイトオープン
20日	火	↓
21日	水	↓
22日	木	↓
23日	金	↓
24日	土	↓
25日	日	↓

日程		内容
26日	月	↓
27日	火	↓※回答状況ご連絡
28日	水	↓※回答督促メール
29日	木	↓
30日	金	↓
31日	土	↓
11月1日	日	↓
2日	月	↓
3日	火	↓
4日	水	↓
5日	木	↓
6日	金	↓
7日	土	↓
8日	日	↓
9日	月	↓
10日	火	↓
11日	水	↓サイトクローズ
12日	木	
13日	金	結果速報アップ
14日	土	
15日	日	
16日	月	
17日	火	
18日	水	
19日	木	
20日	金	WGにて結果報告
21日	土	
22日	日	

(4) 結果

61校中33校より回答があり、回答率は54.1%となった。学校評価の実施状況については、「学校評価」を実施しているのは75.8% (25校)、自己評価は約7割 (23校)、学校関係評価は約6割 (20校) の実施状況であった。

た。全国平均自己評価実施率は69.8%、学校関係者評価実施率は36.3%（出典：平成26年度私立高等学校等実態調査）であり、全国の実施率に比べ、学校関係者評価の実施率は高い結果となった。また、「学校評価」の結果を外部公表しているのは6割弱（19校）、自己評価・学校関係者評価は各5割強（各17校）、一切公表していないが2割弱（6校）となり、全国の平均公開率（自己評価：35.6%、学校関係者評価：23.1%）より非常に高い割合となった。

また、自己評価の課題として、「評価基準が曖昧」なことが挙げられ、その他に「視座が定まっていない」「客観的な視点での評価の難しさ」と回答があった。学校関係者評価の課題として、「委員の選定」「委員会の日程調整」が複数件挙げられた。その他では「時間や予算の確保」などもあった。

そして、学校評価が学校運営の成果向上に「つながっている（とても＋やや）」と回答したのが66.7%（22校）、「つながっているかどうかわからない」のが9.1%（3校）となり、学校評価の実施が学校運営に貢献している意見が多くあった。

※詳細な結果については、添付資料②

2. 3－専修学校の学校評価の充実に向けた研修会の実施

学校評価の充実に向けた教職員研修モデルの研修内容について、学校評価に関するアンケート結果も踏まえ、3回のWGを開催し検討を行った。本委託事業の事業内容に基づき、より効果的・効率的な学校評価を実施できるよう、「ガイドライン等の内容説明」「学校評価の実施・公表に関する事例紹介」「各校が抱えている課題の共有や相互の助言、疑問点の集約」を行った。

まず、ガイドライン等の内容説明については、「専修学校におけるガイドライン（平成25年3月文部科学省生涯学習政策局）」および「学校評価を活かした専修学校の質保証・向上に向けて～専修学校における学校評価実践の手引き～（平成27年3月文部科学省委託事業『職業実践専門課程の通じた専修学校の質保証・向上の推進』）」をもとに各ガイドラインを解説し理解を深めた。また、課題の共有として京都府下の専修学校に対して実施した学校評価に関するアンケート結果を東京サーベイ・リサーチより報告いただいた。

そして、事例紹介としてWGメンバーである京都YMCA国際福祉専門学校、ディースファッション専門学校、京都調理師専門学校の3校より学校評価への取り組みや課題、効果について具体的な事例が発表され、参加者からも他校の取り組みが理解でき、大変参考になったと好評であった。

研修会終了後、WGを開催し、今回の結果を踏まえて今後の研修会実施に向けた改善点や内容について意見交換を行った。

(1) 目的

WGにて検討された研修プログラムを、京都府下の専修学校関係者に広く周知するために研修会の参加を促進し、掲げた成果目標を達成する。

(2) スケジュール

2015年12月7日(月) 京都府下の専修学校(61校)へ郵送にて案内
2015年1月8日(金) 研修参加申込締切
2016年1月20日(水) 研修会実施

(3) 研修概要

<研修名>「専修学校における学校評価の充実」セミナー

<日時>2016年1月20日(水) 13:30~16:00 (13:00受付開始)

<場所>京都私学会館 中会議室 206室

<参加費>無料

<参加者数>45名<26校> (WGメンバー11名含む)

※アンケートを送付した京都府下専修学校61校へ案内を郵送

(4) 研修内容 ※研修会配布資料は添付資料③参照

1. 開会あいさつ

／一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 会長 神崎 清一

2. 専修学校の学校評価ガイドラインに基づく学校評価とは (45分)

／大和学園法人事務局 総務・経営情報グループ部長 畑中 康寛

3. 京都府下のアンケートから考察する学校評価の

取り組みの課題について (15分)

／株式会社東京サーベイ・リサーチ 大阪支社長 常田 修一

4. 学校評価向上の取り組み<事例発表①> (25分)

／京都 YMCA 国際福祉専門学校 教務部 部長 村上 徳光

5. 学校評価向上の取り組み<事例発表②> (25分)

／ディースファッション専門学校 経営企画部長 富永 泰彰

6. 学校評価向上の取り組み<事例発表③> (25分)

／京都調理師専門学校 教務部 部長 作岡 友樹

(4) アンケート結果

- ・ 全体満足度：92.1% (35名/38名中)

○内訳

- ・ 大変よかった 15名 (39.5%)
- ・ よかった 20名 (52.6%)
- ・ あまりよくなかった 2名 (5.3%)
- ・ よくなかった 0名 (0.0%)
- ・ 未記入 1名

- ・ 自由記述 (抜粋)

設問1：本日参加したご感想をお聞かせください
以前、聞かせていただいたような内容で… もう少し深い内容が聞きたかった。
メリットの説明のみであり、デメリットの説明が無い。

設問4：今後のセミナーで「こんな企画・説明があれば受講したい」というものがあればご記入ください。
各校の長期計画、中期計画策定やカリキュラム策定に向けてのスケジュール、手法の共有会
第三者評価について (2名)
意見交換できる、よりフランクな会
実際に実施していく中で出てくる問題や疑問などを解決するための説明会や相談会など。
実行途中での質疑応答などの機会があっても良いかと
課題 (募集・指導方法) の事例
学校評価の進め方、PDCA サイクルの循環の実際
学生募集関連、広報関連、専門職業大学 (仮称) について
いろんな学校の学校内取り組みなど、生徒集めなど聞いてみたい。
教育現場と実際の業界との求める人材のずれ違いに関して
教員の教育 (教授法、クラス運営方法 etc)

設問5：本日の内容で、不明点・質問等ございましたら、自由にご記入ください
保護者からの意見は多く集められたのでしょうか。なかなか解答が集めにくいと思われるのですが工夫できることもあるのでしょうか。
実施に当たっての相談会もしていただきたいと思いました。

3. まとめ

2015年8月27日（木）の事業委託の決定から2016年2月12日（金）の最終WGまで約6ヶ月をかけ、一般社団法人京都府専修学校各種学校協会を始め、京都府下の専修学校、専門学校5校を中心に、京都府の専修学校の学校評価の充実を推進する教職員研修モデルの構築と実践に取り組んだ。

学校評価に関するアンケート調査により京都府下専修学校の学校評価の実施および情報公開の状況や課題を把握し、研修会で課題を共有できた。また、各校の事例紹介、各ガイドラインの解説により、各校が抱える学校評価実施の課題解決の糸口となったことが研修アンケートでもうかがえた。特に、事例紹介では、今後の学校評価の実施等に参考にしたいという意見が多くあった。

研修会実施後のWGでは、他府県の専修学校の担当者を招聘した講演やより質問をしやすい少人数でのディスカッション形式での実施、フランクに意見交換できる機会を設けての実施、参加対象を実務担当者に絞った実施など研修内容をブラッシュアップさせ、一般社団法人京都府専修学校各種学校協会を中心に、学校評価のさらなる充実に向けた教職員研修を継続して実施していくことが、学校評価の充実につながるものであると考える。